



®環境省
エコアクション21
認証番号 0012899



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

環境経営レポート2021

2021年7月1日～2022年6月30日
-事業年度 第54期-



2022年7月31日発行

広島の建物の“健康”を支える



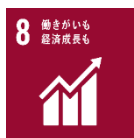
Yashimakanri
八洲管理株式会社

目次

1. 環境経営方針	…	P2
2. 組織の概要・実施体制	…	P3 ~ 4
3. 環境経営目標	…	P5
4. 環境経営目標の実績・評価	…	P6
5. 環境経営計画の取組結果・評価	…	P7 ~ 8
6. 次年度の環境経営計画	…	P9
7. 代表者の全体評価と見直し・指示と 法令遵守状況等	…	P10
8. 各現場における環境活動	…	P11 ~ 12
9. 再生可能エネルギー事業について	…	P13



八洲管理株式会社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります



- ・幅広い年齢層の雇用促進
- ・働きがいを見いだせるような安全安心な職場環境の整備
- ・資格取得補助等による人材育成の充実化



- ・清掃業を通じ、衛生的な生活環境を確保
- ・貯水槽清掃により、きれいで安全な水を提供
- ・ビルメンテナンス業で地域の建物の健康を守る



- ・環境に配慮した資機材の使用で環境負担を低減
- ・省エネルギー促進によりさらなるCO2削減を目指す
- ・太陽光発電により脱炭素社会へ貢献

1. 環境経営方針

環境経営方針

八洲管理株式会社はビルメンテナンス事業の柱である清掃業務・設備管理業務及び警備業務において、全従業員が一丸となってエコアクション21の活動を通じて積極的に環境への取組を推進し、「安全で暮らしやすい」環境優先社会の実現に貢献する企業として存続・進化し続けます。

1. 環境負荷の低減と経営を両立させ、取り組みを通じ全従業員が自ら考え自ら行動する企業風土を醸成し、活動をスパイラルアップさせます。
2. 地球温暖化への対応のために、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
(電力消費量及び業務車両・機器燃料)
3. 循環型社会への対応のために、廃棄物発生量の削減およびリサイクルに努めます。
4. 衛生的な飲料水を提供するとともに、水資源を有効に活用するために、水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した製品を優先的に選定し、化学物質の削減に努めます。
6. 環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する提案商材を作ります。
7. 地域美化活動やボランティアに、積極的に参加します。また、効果的な情報発信で環境活動の輪を企業の枠を超えて広めます。
8. 環境関連法令、条例や規制等の要求事項を遵守し、社会の安定の維持のために環境保全に努めます。
9. 環境経営方針に関する教育を全社員に対して行います。

制定日：2018年11月30日

改定日：2020年7月1日

八洲管理株式会社
代表取締役社長

佐藤 香雄

2019年11月に建築物飲料水貯水槽清掃業(5号登録)の事業登録を行った事に伴い、地域の環境保全と公衆衛生向上に対する志を持ち、建物利用者の皆様に衛生的な水資源を提供するという強い使命感を環境経営方針に明記いたしました。

2. 組織の概要・実施体制

1. 会社名

やしまかんり
八洲管理株式会社

2. 代表者名

代表取締役社長 佐藤 秀雄

3. 所在地

〒733-0032 広島県広島市西区東観音町19-1 タルタビル1・2F

4. 環境管理関係者の連絡先

環境管理責任者 : 高野 隆史 (ビルメン事業部 設備管理課)

環境事務局担当 : 丸山 幸一 (ビルメン事業部 清掃サービス課)

連絡先 : TEL 082-232-7871、FAX 082-232-7872

5. 主な事業内容

清掃業務、設備管理業務、建築物環境衛生管理業務、
施設内警備保安業務、建物保全業務



日常清掃



屋外高圧洗浄



貯水槽清掃消毒作業



高所ロープ作業(硝子清掃)



エアコン分解洗浄



設備各種点検



設備運転管理



施設警備



駐車場管理



排水管高圧洗浄

2. 組織の概要・実施体制

6. 事業の規模

売上高 : 326百万円 (第54期・2022(令和4)年6月)
 従業員数 : 64人 (常勤従業員数に換算した人数)
 延べ床面積 : 211㎡

※総従業員数および延床面積内訳

	本社	清掃現場	設備現場	警備現場	その他	合計
従業員(人)	16	22	13	11	2	64
延べ床面積(㎡)	211	---	---	---	---	211

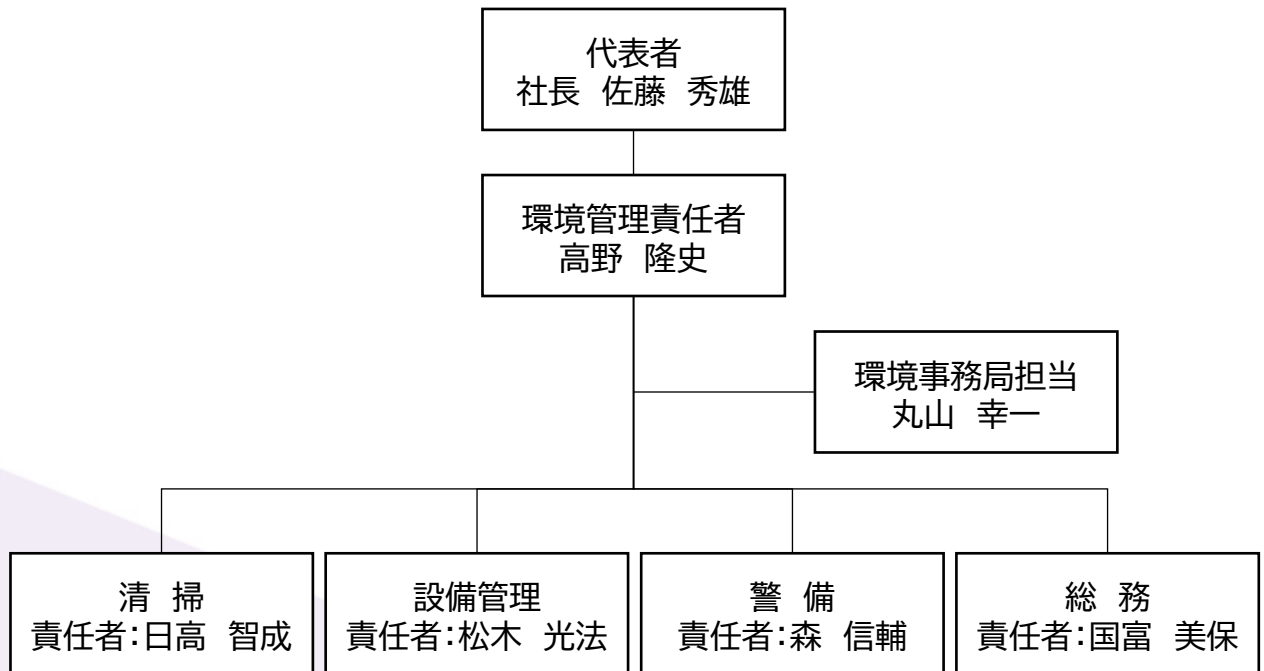
7. 事業年度

7月～翌年6月

8. 認証の対象組織・活動

対象事業所 : 本社事務所
 対象活動 : 前頁5のとおり

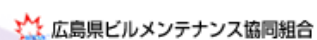
9. 実施体制



10. 加盟団体



公益社団法人 広島ビルメンテナンス協会



一般社団法人 全国警備業協会
All Japan Security Service Association



一般社団法人 広島県警備業協会

一般財団法人 広島県消防設備協会

3. 環境経営目標

基準に対する第54期および第55期、第56期の環境経営目標は下表のとおりに決定しました。近年の削減状況を踏まえ、二酸化炭素排出量の削減目標を第53期の実績を基準としました。

No.	項 目	【第54期】 (2021.7～2022.6)	【第55期】 (2022.7～2023.6)	【第56期】 (2023.7～2024.6)
I	二酸化炭素排出量の削減			
	19,607kg-CO ₂	19,544kg-CO ₂	19,487kg-CO ₂	19,430kg-CO ₂
	電力使用量の削減 【第53期】 6,237kWh	6,174kWh	6,112kWh	6,050kWh
	ガソリン使用量の削減 【第53期】 5,002L	4,996L	4,991L	4,986L
II	軽油使用量の削減 【第53期】 1,418L	1,416L	1,415L	1,414L
	廃棄物の削減			
II	一般廃棄物の削減 【第52期】 330kg	325kg	320kg	315kg
	産業廃棄物の削減 【第51期】 34kg	30kg	30kg	30kg
III	水道水使用量の削減 【第50期】 122m ³	122m ³ 以下	122m ³ 以下	122m ³ 以下
IV	化学物質使用量の削減 【第50期】 6kg (PRTR該当物質)	3kg	3kg	3kg
V	グリーン商品購入の推進 【第52期】 100%	100%	100%	100%
VI	環境性能の向上・サービスの改善 【第51期】 1件	2件	2件	2件
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 【第50期】 2件	2件	2件	2件

注1:電気の二酸化炭素排出量は、中国電力株の2016年度実績 0.694 kg-CO₂/kwh により算出

注2:水については使用量自体が少量であり、削減が困難であるため現状維持を目標とする

5. 環境経営計画の取組結果・評価

環境活動の取組み内容とそれぞれの取組みに対する評価(継続/完了/未着手)、及び総括は下表の通りとなります。

No.	取組内容	結果の評価
I	二酸化炭素排出量の削減	
	電力使用量の削減 ・空調温度の適正管理 ・休憩時間の不要照明の消灯 ・コピー機の省エネ設定	・空調温度の適正管理 継続 ・サーキュレーターの設定 完了 ・休憩時間の不要照明の消灯 継続 ・コピー機の省エネ設定 完了 ・不要なアイドルリングストップ 継続 ・急加速、急停車の防止 継続 ・効率的な移動 継続
	ガソリン・軽油使用量の削減 ・不要なアイドルリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・効率的な移動	【総括】 前期のレポートでの想定通り、事務所拡張による電力使用量の増加が著しく前年比で+32%となったガソリン使用量も積極的な社員採用の結果+8%となった。軽油使用量は排水管洗浄の業務微減により-12%となった。結果、二酸化炭素排出量は前年比+9%で目標未達となった。全体的にCO2排出量は高めで推移しているが、今後はこれらの数値が新たな基準となることも考えられる。今後の推移によっては基準値、目標値とも見直しが必要となるかもしれない。
II	廃棄物の削減 ・分別によるリサイクルの推進 ・素材ボックスの設置 ・保管場所へ掲示板設置 ・ミスコピーの防止	・分別によるリサイクルの推進 継続 ・素材ボックスの設置 完了 ・保管場所へ掲示板設置 完了 ・ミスコピーの防止 継続 【総括】 特別清掃による剥離廃棄物、購入資機材の梱包材などの一時的な廃棄物の増加が大きい。これらの削減方法も現在模索中である。
III	水道水使用量の削減 ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時、手洗い時の節水	・節水の周知徹底 継続 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 完了 ・清掃時、手洗い時の節水 継続 【総括】 水道水の使用量は-26%となった。改装時に設置した男性用小便器及び節水型洋式便器の効果が想定以上に大きかった。
IV	化学物質使用量の削減 ・環境に配慮した化学物質を選定する(PRTR法非該当物質)	僅かに使用量で目標値を上回った。現在使用しているPRTR法該当品はお客様からの要望で使用しているため、切り替えが難しい状況ではあるが、切り替え可能な新製品があれば積極的に切り替えたい。
V	グリーン商品の購入推進 ・事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。	事務用機器はグリーン購入品を選定した。

5. 環境経営計画の取組結果・評価

No.	取組内容	結果の評価
VI	環境性能の向上・サービスの改善 ・環境に配慮した商品や製品(LED器具等)を積極的に提案して省エネの推進を図る	お客様へLED照明を提案し設置する事が出来た。また、従来であれば剥離剤を使用する剥離作業を、手作業で削りとる作業を提案・実施し、成果を上げることが出来た。
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 ・ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加	2件の環境美化活動へ参加、徐々に地域での環境活動が再開してきたと感じる1年だった。新たな取り組みとしてエコキャップ活動に参加、30.4kgのペットボトルキャップを集め、小児ポリオワクチン購入に貢献した。

■企業ロゴ刷新・込めた想い

55期を迎えるにあたり、創業以来使用しているロゴのリニューアルを行いました。外部のデザイナーに依頼せず、代表者と印刷業界出身の社員を含めたチームでデザインしました。創業者がこだわった菱形や、真中の「Y」の文字の基本デザインを踏襲しながら現在の社内風土や目指すべき企業像をイメージしたデザインになっています。

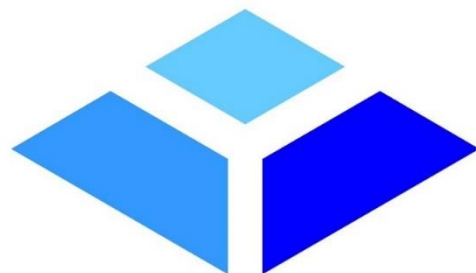
●ロゴマークの“色”に込めた想い

- ・青色を基調としたデザインで未来に向けて守るべき地球、自然を表現
- ・当社の事業にも深く関わる資源である水(貯水槽清掃・排水管洗浄などの高圧洗浄)
- ・環境に配慮する企業としての社会的な責任を企業としての方向を明確にした

<旧ロゴ>



<新しいロゴ>



 **八洲管理株式会社**

 **Yashimakanri**

6. 次年度の環境経営計画

第54期の環境活動の取組み内容と結果の評価を踏まえ、次期への取組み内容を下表の通りとします。

No.	取組内容	次年度への取組み
I	二酸化炭素排出量の削減	
	電力使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理（冷房28℃暖房20℃） ・サーキュレーターの設定 ・不要照明の消灯 ガソリン・軽油使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・不要なアイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・効率的な移動 	<p>今期は事務所拡張による電気使用量の増加が想像以上だった。来期はこまめな消灯と健康に影響のない範囲での空調温度の調整を徹底し、抑制に努める。</p> <p>来期は業務拡張・社員増加を予定しており、ガソリン使用量が増加する見込み。エコドライブの啓蒙と実践で可能な限り抑えたい。</p>
II	廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 ・ミスコピーの防止 ・裏紙の使用 ・リサイクル率の向上 	<p>今期は特別清掃で排出された可燃ごみの量が多かったが、突発的な期間限定業務であったため、来期は今まで通りのごみ削減活動を継続していく。</p>
III	水道水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時・手洗い時の節水 	<p>トイレ改装により26%の水使用量削減が達成できた。手洗い、清掃時の節水を心がけるように新入社員へ周知を徹底する。</p>
IV	化学物質使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した化学物質を選定する（PRTR法非該当物質） 	<p>お客様指定のPRTR該当品も代替品へ切り替えが可能かどうか選定を継続する。</p>
V	グリーン商品の購入推進 <ul style="list-style-type: none"> ・事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。 	<p>引き続き事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。</p>
VI	環境性能の向上・サービスの改善 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した商品や製品（LED器具等）を積極的に提案して省エネの推進 	<p>引き続き、お客様へ省エネ対応機器への取り換え工事や高圧洗浄サービス等を積極展開するとともに、来期はオフィス什器をクリーニングするリユース型の新サービスを展開する予定。また、各常駐現場で継続的に取り組みやすい省エネ活動にもお客様と協同で取り組んでいく。</p>
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加 	<p>ごみゼロクリーンウォーク以外の環境活動にも積極的に参加していく。</p>

7. 代表者の全体評価と見直し・指示と法令遵守状況等

■代表者による全体評価と見直し・指示

今年1月よりロシアによるウクライナ侵攻が始まり、国際情勢の危機に端を発するエネルギー情勢の変動は、私達の環境・自然・資源に対する意識を抜本的に変えたと感じる。

当社はビルメンテナンス業務を提供する企業として、ビルの維持管理に関わる業務は何でも対応しており、ビルの水光熱費等のエネルギーに関してビルオーナーからの要望に対応する事も多い。

現代社会において、建物を運営するビルオーナーにとって今後の活動を継続していくためには、エネルギー問題を含む「SDGs」に本気で取り組まなければならない時代となった。私達、ビルメンテナンス事業者もお客様(ビルオーナー)とベクトルを合わせ、「SDGs」の中心的な問題である環境保護、脱炭素などを常に意識し、これらの問題をお客様と一緒に解決しながら、循環する経済活動や社会貢献を行っていかなければならない。

来期は、持続可能な社会実現のために、この1年間で準備を進めてきた取り組みを本格的に開始する。清掃事業では既存のリソースを活かし、建物内にあるオフィス什器のうち椅子に焦点をあてた新しい清掃サービスを始める。今秋よりスタートする清掃現場では、建物内で発生する廃棄物の排出量を抑制する活動を推進する。設備管理事業では、省エネルギーを実現するためにお客様の求めるサービスレベルを踏まえた空調等の設備機器の適切な運転管理計画を再設計していく。

環境管理事務局の2名には、あらゆる現場におけるエコ活動を本社から力強く支援する取り組みを期待するとともに、より一層の全社的なコミュニケーションを図る取り組みを進めてほしい。過去4年間は部分的な関与に限定されていた環境経営レポートの作成についても事務局業務に集約するため、これまで以上に環境マネジメントを意識した活動を実施されたい。

なお、見直しを行った結果、環境経営目標は事務所拡張や社員採用により基準値を大幅に上回る指標も複数あったことから、来期は見直しを行う事を支持する。環境経営方針・環境経営計画・実施体制の3点については引き続き現状維持とした。

2022年7月31日

八洲管理株式会社

代表取締役社長 佐藤 秀雄

■関連法規の遵守状況

<適用される主な環境関連法規制>

廃棄物処理法・ビル管法・フロン排出抑制法・化学物質管理促進法(PRTR法)

<遵守状況結果>

環境関連法規などの遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

■問題点の是正処置及び予防処置の結果

<処置結果>

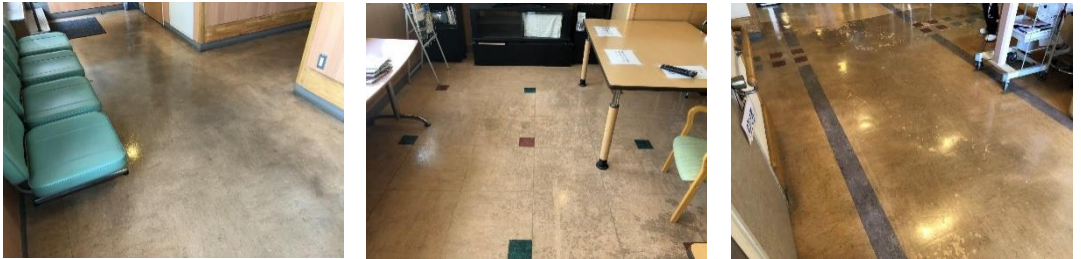
今年度の活動において問題点は認められませんでした。

8. 各現場における環境活動

■環境に優しい施工法による病院リノリウム床の美観回復

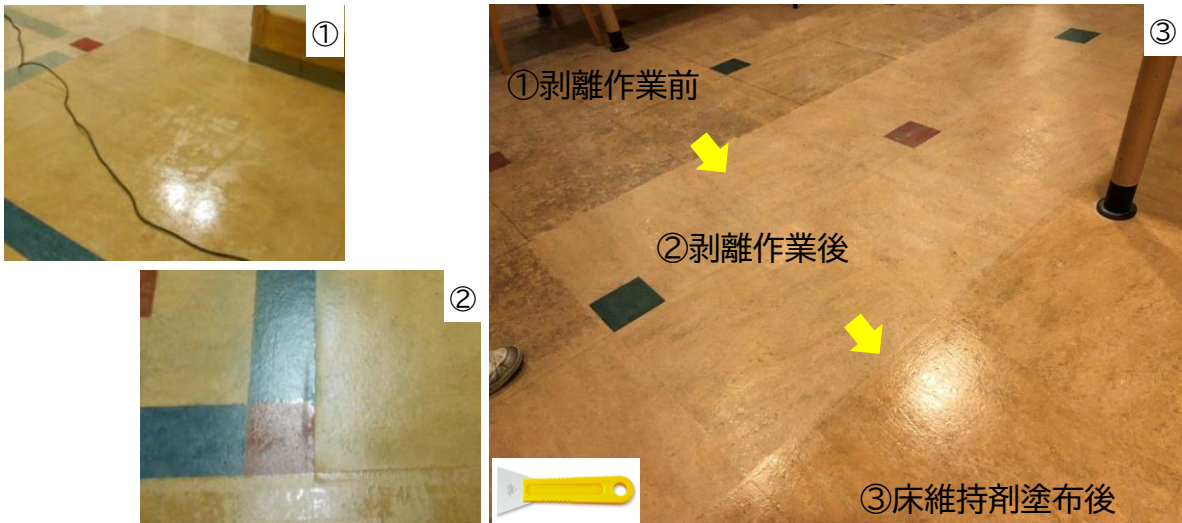
リノリウム (linoleum) とは、亜麻仁油などを原料に製造される床材であり、天然由来のある種のウイルスに対する抗ウイルス性、ある種の細菌に対する抗菌性、脱臭効果が認められており、医療機関や教育施設の床材として全国各地で多く使用されている床材です。

施工前



今回、ご依頼のあったお客様は急性期病院、長年の重歩行及び床維持剤(ワックス)の塗り重ねによって床面全体が黒ずんでいたため、床維持剤を取り除く剥離作業をご提案

施工中



- ①②…剥離剤にてワックスを除去し床維持剤を塗布。場所毎にムラが出て、美観が回復せず、加えて床材への悪影響(傷み)が見られた→剥離剤使用を中断
③……スクレイパー(写真左下)でワックス塗膜を削る完全手作業剥離作業を行う床材への悪影響がなくなり、剥離時の汚水も発生しなくなった

完成



施工エリア全体の床面が均一に仕上がりに、美観・明るさが飛躍的に向上歩行制限がほとんど発生しなくなったため、スタッフ様・患者様にもご好評頂く。

8. 各現場における環境活動

■ペットボトルのキャップを集めて、世界の子どもたちにワクチンを届けたい!!

当社は、社会貢献活動の一つとして、広島県労働会館様が行っている「ペットボトルキャップ回収活動」に今年度から参加しております。

「ペットボトルキャップ回収活動」とは、ペットボトルのキャップを集めて、その売却益で開発途上国の子どもたちにワクチンを届ける取り組みです。キャップは430個で10円になります。ポリオワクチンは、1人分20円！キャップ860個で1人の子どもの命が救えます。



分別をしないと焼却処分に

私たちの日常生活の中で、普通に利用されているペットボトルのキャップを一般のゴミに混ぜてしまうと、焼却処分されCO2発生源となり、また埋め立て処分されると土壌を汚染し地球環境を破壊することとなります。



今まで何気なくペットボトルと一緒に捨てていたキャップが「再資源化」と「開発途上国の子どもたちへのワクチンを提供する」という、国境を超えた未来への素晴らしい贈り物になる活動です

<回収数量・個数およびワクチン貢献人数>

受渡日	数量(kg)	個数(約)	ワクチン
2022.6.30	17.5	7,525	8.75人分
2021.12.24	12.9	5,547	6.45人分
累計数	30.4	13,072	15.2人分

<啓蒙ポスター(広島労働会館様)>

ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

PET BOTTLE CAP
キャップ860個で1人の子どもの命が救えます。

キャップ 860個で 20円 = ワクチン 1人分 20円

「ペットボトルキャップ回収活動」を進めよう。

【ペットボトルキャップ回収活動】とは、ペットボトルのキャップを集めて、その売却益で開発途上国の子どもたちにワクチンを届ける取り組みです。キャップは430個で10円になります。ポリオワクチンは、1人分20円！キャップ860個で1人の子どもの命が救えます。

キャップを回収
リサイクルメーカーへキャップを売却
リサイクルメーカーが、キャップ購入費(売却益)を寄付
寄付先: 日本赤十字社「世界の子どもにワクチンを」日本赤十字社
開発途上国にワクチンが届きます

<PBC回収活動取り組み物件数>

- 総合管理 … 3物件
- 清掃管理 … 7物件
- 設備管理 … 3物件
- 警備管理 … 0物件
- 社員個人 … 1名

& 本社事務所

9. 再生可能エネルギー事業について

■太陽光発電事業による環境貢献

2017年に活動を始めたエコアクション21を通じ 環境について会社全体で学び取り組む中で、「環境に良い事業をこの広島ではじめたい」と感じるようになり、2021年6月20日より安佐北区鈴張地区にて太陽光発電所(低圧)を建設、事業を開始しました

候補地選定



建設のために、樹木伐採の必要がある場所は除外(自然保護を優先)

事業にご理解のある方に休耕田を譲って頂きました。西日が当たりやすく、メンテナンスのしやすい場所です。

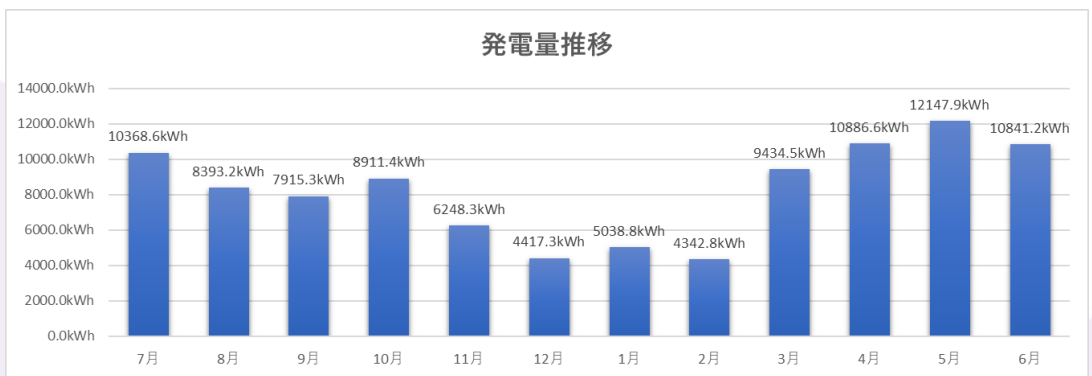
事業開始・メンテナンス



景観・土壌を保つため、防草シートは必要最低限の設置に留め、自社メンバーで定期的に刈払い作業を行っています。
※当社は除草作業を行う事も多く刈払機の扱いはお手の物！
レクリエーションも兼ねて、楽しく作業♪



発電量



運用開始初年度である2021年7月～2022年6月の発電量は98945.9kWhでした。これを一般的な戸建の年間電気使用量(4,200kWh/年)で割ると、23.5戸分の電力を発電した事になります。今年度は発電阻害要因である積雪発生時に、速やかに雪下ろし(同時にパネル清掃も行う)を実施、さらに発電効率を高めます。